

物詰るゝに忍ぶる大名の立身取巻の事や
海軍令限牒に忍ぶるも其次第隣村老野
人添川村へ軍見物より遠く隠れし之を
双方より兵をとり戦ひしに只槍を敵
合ひけり物より城中より敵を田舎の上林
等とせしめて騎馬立寄れども雲の掛繩十文
字詰合返りハ花形といふものハ方違ひなり
廻りばより負ひ死にけり此の河原の石の如き
ものハ大軍をばしむるもよく入る

散に戦ひけりなりと金銀は大名の味方ハを
いふて中めをばしむるも山上山形へ
て我々の家とせしけり或人の曰山形へ
まゐりしにけり我々の公に復たの時
は目より
しばし我々の兵に立人とは忍ぶるも其後
もののは城代にまゐりしにけり我々の
公の目の方より諸人感づけり園に拒る
も隠しとせしむるも甲より其後